

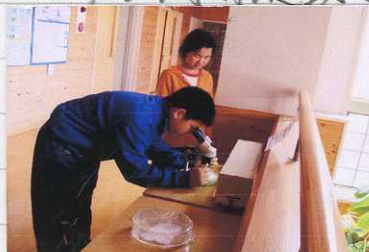
活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

6 ホタル保護活動を広める運動

生物研究部では、ホタル保護活動を、学校全体や地域の人たちにも理解してもらい、地域全体で環境の保護・保全やホタルの保護活動に取り組んでいかなければならないと考え、今までの活動を拡大し、ホタル観察会やホタル飼育運動などに取り組んだ。

① ホタル観察コーナー

今年は、国田小中学校(本校は小中併設校である)の児童生徒にも生物研究部の活動を知ってもらい、ホタルに関心をもってもらおうと、理科室内に誰でも観察できるホタル観察コーナーを設置した。小中学校の児童生徒が休み時間等に自由に観察していた。



ホタルを観察する小中学生



理科室廊下のホタル観察コーナー

観察内容は、成虫の観察及び交尾産卵(5月)

卵の変化、孵化(5月～6月)

幼虫の成長(6月～7月)

である。毎日ホタルの様子を確認しやすく観察できる様に位置とポイントを合わせたり、卵への霧吹き、幼虫の水替えなどを行った。

小学校の先生から、児童が関心をもって観察していることを聞いた。

② ホタル観察会

ア 国田小中学校ホタル観察会

昨年までも、ホタル観察会を行ってきたが、生物研究部が中心で、各生息地のホタル発生状況を生物研究部として「調査する」という意味合いが強かった。今年は、活動を小学校、中学校全体に広げみんなにも理解してもらおうと小中学校全員に案内を出した。

6月13日の七ッ洞公園には児童、生徒と保護者が60人以上集まり、ホタル観察会を行った。生物研究部のホタルの説明と観察の注意を聞いた後、ホタルの観察会



国田中のホタル観察会で、生物研究部の生徒が理科室でホタルを観察。毎年、朝から幼虫を育て、七ッ洞公園などに放流して生息状況を観察するが、ホタルの保護活動は今年三月に、成虫になる直前の幼虫約三百匹を放流した。

水戸市国田町の市立国田中学校、根本副校長、生徒八十三人は十三日夜、地元の七ッ洞公園で、ホタル観察会を開いた。生徒をはじめ、市立国田小学校の児童や保護者らが参加し、発光しながら飛び回るゲンジボタルの様子を観察した。同中では、生物研究部の生徒らが理科室でホタルを飼育。毎年、朝から幼虫を育て、七ッ洞公園などに放流して生息状況を観察するが、ホタルの保護活動は今年三月に、成虫になる直前の幼虫約三百匹を放流した。

この後、児童生徒らは小川の周りで観察、照光の中にある「光っている」と「光っていない」との差を上げ、ホタルの様子を話していた。同部顧問の鈴木俊之助によると、今年、ホタルが見られるのは半年より一週間ぐらい早く、数も多かったという。この日、生物研究部では、来年度生になる幼虫約四百匹を放流した。

沼田安広

幻想的な光に歓声

茨城新聞(H19.6.16)

活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

を行った。国田に住みながら、ホタルを見たことがない子どもや大人もいて、ホタルの光に観声を上げていた。当日は孵化幼虫の放流も行った。

イ国田地区自治実践会主催ホタル観察会

6月17日に国田地区自治実践会と三の丸自治コミュニティ主催によるホタル観察会が催された。昨年に続き2回目である。三の丸地区の親子が多数参加した。生物研究部のホタルの研究発表と根本 邦宏先生のホタルの話の後ホタルの観察を行った。



国田小中ホタル観察会

③全校でのホタル飼育運動

今までは、生物研究部が、理科室内でホタルの飼育研究を行ってきた。しかし、部員以外の生徒はホタルの成育の様子や幼虫の姿さえあまり知らないこと、幼虫を見て気持ち悪がる生徒も多い現状があった。そこで、中学校の各学級の生物係に、孵化幼虫を数え、装置を組み立ててもらい、飼育の仕方を生物研究部の部員が説明した。時折、部員が各クラスを回り飼育の状況をチェックすることにした。



各クラスにおいたホタル飼育水槽

④小学校に広がるホタル保護活動

ホタル観察会を通してホタルに興味をもった小学生が理科室前の「ホタル観察コーナ」によく来るようになった。そこで、小学校の学級と協力して、ホタルの放流活動やホタルの飼育活動を行う事にした。アホタルの放流

理科の学習や総合的な学習の時間と関連づけて、孵化幼虫をホタル生息地や近くの用水路に放流する。

イホタルの飼育

小学生のホタルへの興味が高まり、小学校の学級でもホタルの飼育を意欲的にしてくれることになった。

生物研究部が小学生にホタルの話やホタルの飼育の仕方の説明を行い、装置を組み立ててもらった。



小学生による幼虫の放流



生物研究部員が小学生にホタルの飼育の仕方などを説明した



小3教室のホタルコーナー

活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

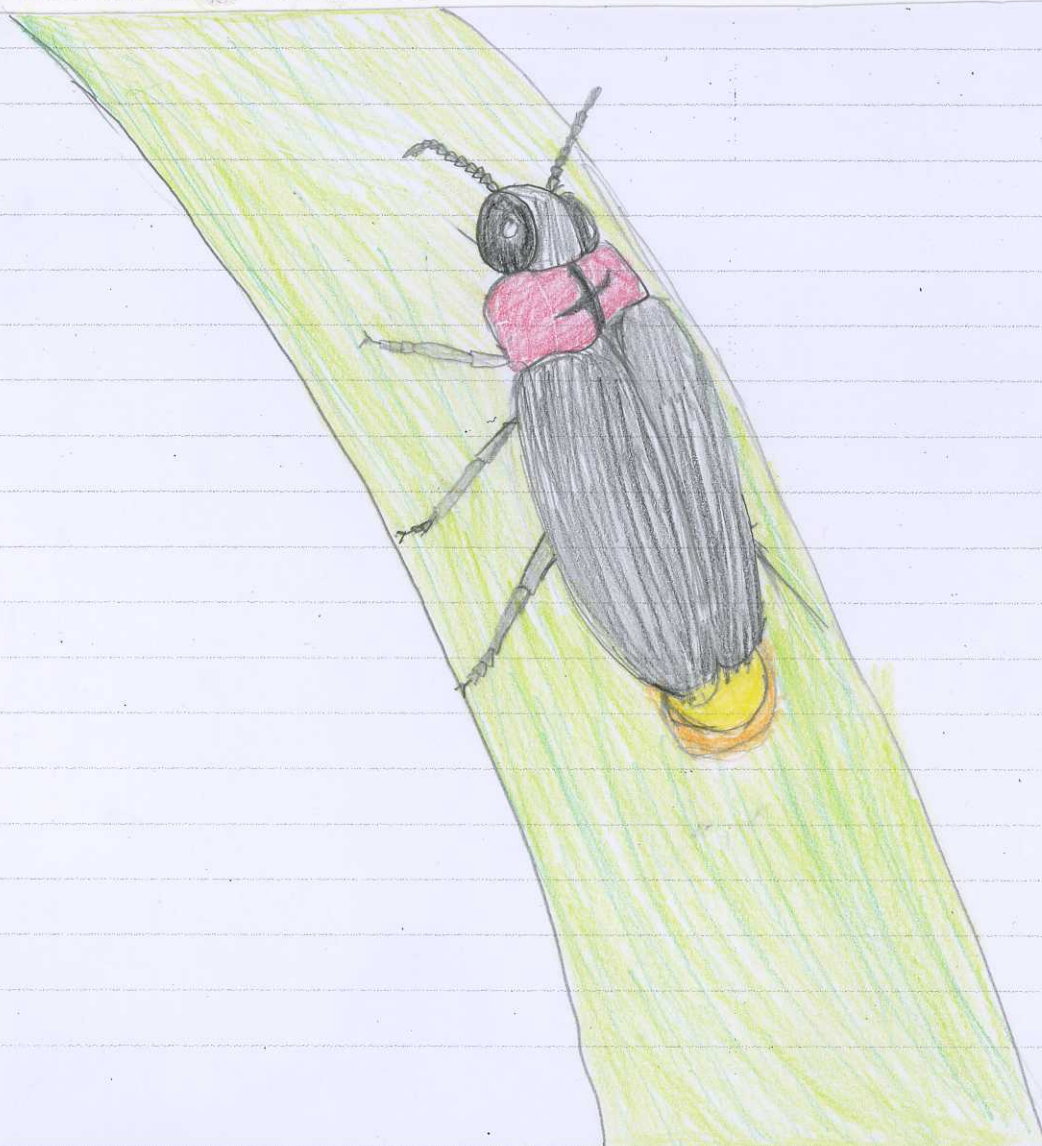
現在小学3年生の教室で飼育中である。

③ ホタルの研究発表

さらに、「教育振興大会」、「桜川・千波湖を考えるシンポジウム」、「中学生高校生生物研究発表大会」など多くの発表の機会に恵まれ、ホタルの研究発表を通して、環境保護の大切さを多くの人に訴えることができた。



「教育振興大会」(写真左：水戸市民会館)、「桜川・千波湖を考えるシンポジウム」(写真中：県民文化センター)「中学生高校生生物研究発表大会」(写真右：県立図書館)など多くの発表の機会に恵まれ、ホタルの研究発表を通して、環境保護の大切さを訴えた。



◆活動レポート用紙は、活動をした子どもたちが中心に記入してください。

